
2018年9月15日(日) 国崎 たて釣り 功成丸
 中潮:旧8/6 干潮 03:07(61cm) 満潮 9:36(190cm) 干潮 15:14(100cm) 鳥羽
 自分 カンパチ 2尾 ワラサ 1尾 ハマチ 1尾
 ツレ カンパチ 1尾 カンパチ(小) 1尾 ハマチ 2尾
 カンパチ 60cm 2.4kg(3尾とも同じ大きさ) ワラサ 66cm 2.7kg

4時10分 現地着	20分くらいで釣り場に到着
5時00分 釣り座抽選	9時36分 満潮(鳥羽190cm)
集合時刻と言われた時間	11時20分 納竿 沖上がり
5時20分 出船	12時00分 帰路 現地出発

【料金】 乗り合い 10,000円 仕掛け、氷付き 釣り座は抽選

【仕掛け】 電動リール(ビーストマスター3000XP、電動丸3000XH) リーダー5m
 竿受け おもり 80号

※魚を絞めるためのゴム手袋 針を外すためのペンチ
 活かしておいたベイトを生け簀からすくうためのタモ

サービスの仕掛け ハヤブサ製

喰わせサビキ タテ釣りスペシャル 8本鉤(ホロフラッシュ アピール)

イサキ鉤12号 幹糸12号 ハリス10号 枝8cm 枝間25cm 上下30cm全長2.35m

仕掛けをきれった後、前回のサビキを使用。これでも釣れた。

今回、根掛かり対策「下のサルカンにフロロ4号を付ける」をしなかった。

【様子】

- ベストシーズンは早く予約しないと入れないことから、2週間前に予約した。
- 曇り時々雨(小雨)、風はないが波はうねっていた。
- 酔い止めを飲んだが、それでも酔いそうである。うねりはだんだん収まっていったので良かった。
- 釣り座は5番くじを引いた。右舷前から3番4番となった。少しでも揺れが少ないように、ツレを胴に座らせた。
- 船長からベイト(アジ・サバ)の棚と水深のアナウンスがある。今日は「30mから底まで。水深40m」というが多かった。始めに「ベイトはアジやサバで掛かると結構引きますから。」と、そして、時々、「根掛かりに気をつけて」とアナウンスがあった。
- 釣り開始直後に自分にハマチが掛かった。
- 時合いは一時で、一斉に掛かり出す。
- 今日は潮が緩いので釣りやすかった。潮が大きいと釣りにくいだろう。
- 大潮など潮が大きいと釣りにくいだろう。乗船前に潮止まりを確認しておく。
- 船中では釣り始めに釣れた。潮止まりでは釣れなかった。潮が動き出して釣れ始めた。納竿前には釣れなかった。ベイトも掛からなかった。
- 11時20分、「これで終わります」と突然、アナウンスがあり、終了となった。

【リーダーを5mつける】

- 船中でトップクラス級だった。リーダーを5m付けたことが一要因かもしれない。
- 功成丸HPに「立て釣りに出船しました。ベイトはアジやサバでワラサが当たりました。ウタセ真鯛でワラサが釣れたようです。今後は真鯛ワラサの両方狙いで出船します。道糸はフロロの8号がお勧め。pe

ラインでしたらリーダーを8から10号にして繋ぎ目はしっかりと結んでください。長さは5mぐらいでいいかな。ハリスはシーガーの6から8号」とあったことから、次のようにした。

○ツレ用の電動丸3000XH、自分用のビーストマスター3000XPにリーダーとしてフロロ8号を5m付けた。

PEラインとフロロとの結び方は、誠哉ノット風である。

- ① リーダーで輪を作り、輪にリーダーの先を3回通す
- ② リーダーでPEラインを3回くぐらせる。
- ③ PEラインの先を内掛け結びの要領で輪に10回くぐらせる。
- ④ ゆっくり締める。

○リーダーの先がガイドに引っかかって、ガイドを通らなかったのので、リーダー結び目の先端を2mmに切った。

○この結び方で66cmワラサも60cmカンパチも切れることはなかった。

【ドラッグ】

○ドラッグは手で強くギューツと引っ張って出る調子とした。これでよい。これでもワラサではドラッグが滑った。

○以前の記録

「ブリが釣れていたことから、ラインをきつく引き出したときにドラッグが滑るように調節した。」

【ベイトを掛ける】

○「ベイトがいれば、活性が高ければ、仕掛けを落とすだけで喰ってくる」と考えた。

○ベイトの棚まで仕掛けを一気に落とす。ベイトが掛からなければ2mずつ落として待つ。下の棚まで来ても掛からなければ、上の棚まで2mずつ上げて待つ。

○これで良かった。待つて掛からないときに、竿を振り上げたり、細かく揺すったりしても掛からなかった。

○今日は「ベイトの棚は30mから底まで。水深40m。」ということが多かった。ベイトが掛からないとすぐに仕掛けを上げたり下げたりしなければならなかった。

【ベイトが掛かった】

○今日はベイトが底付近であったことから、

- ① 少し待つ
- ② 底から1～2mで待つ。置き竿のときは根掛かり対策をかねて、3m上で待った。

